

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社大冷 上場取引所 東  
 コード番号 2883 URL <https://dai-rei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富田 史好  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統括本部長 (氏名) 黒川 岳夫 (TEL) 03(3536)1551  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,917	△21.0	381	△35.9	413	△31.2	272	△32.5
2020年3月期第2四半期	13,828	2.8	595	26.0	600	25.0	403	26.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期第2四半期	45.88		—					
2020年3月期第2四半期	67.29		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,675	7,874	73.8
2020年3月期	10,992	8,007	72.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 7,874百万円 2020年3月期 8,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	55.00	55.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,680	△19.3	506	△57.3	506	△57.7	347	△57.4	58.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	6,008,300株	2020年3月期	6,008,300株
2021年3月期2Q	89,627株	2020年3月期	50,651株
2021年3月期2Q	5,942,173株	2020年3月期2Q	5,997,372株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的に蔓延している新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、依然として厳しい状況にあります。また、緊急事態宣言解除後は経済活動が徐々に再開しているものの、依然として新型コロナウイルス感染症拡大の懸念があり、経済活動の回復には未だ至っていない状況です。

国内食品業界におきましては、インバウンド旅客の減少、さらには感染防止対策としての外出自粛等により外食産業向けの需要が減少した一方、巣ごもり消費の増加により内食需要が伸長いたしました。

このような状況のもと当社は、お客様および従業員への新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底する一方、粗利率の改善や経費を最低限に留めるよう努めました。営業活動につきましては、外食産業や学校給食の落ち込みをカバーすべく医療食向けや介護食向けの販売強化に引き続き取り組んでまいりました。以上の結果、骨なし魚事業におきましては、当社独自商品の拡販に努めましたが、徐々に回復しているものの新型コロナウイルス感染症拡大による需要の落ち込みの影響が大きく売上高4,789,321千円（前年同期比14.8%減）、ミート事業におきましても、「楽らく匠味シリーズ」の拡販に引き続き努めましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による需要落ち込みの影響が大きく売上高986,407千円（前年同期比29.2%減）、その他事業におきましても、大手ユーザーへの直接販売などに取り組んでまいりましたが、回復は見られるものの新型コロナウイルス感染症拡大による需要の落ち込みにより売上高5,142,261千円（前年同期比24.6%減）となりました。これにより当第2四半期累計期間の売上高は10,917,989千円（前年同期比21.0%減）となりました。

損益面につきましては、粗利率の改善や経費削減に取り組んでまいりましたが大幅な粗利金額の減少により、営業利益は381,656千円（前年同期比35.9%減）、経常利益は413,352千円（前年同期比31.2%減）、四半期純利益は272,620千円（前年同期比32.5%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第2四半期会計期間末における総資産は、10,675,232千円となり、前事業年度末と比較して316,987千円減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金が103,692千円増加した一方で、商品が263,969千円、流動資産のその他に含まれる短期貸付金が153,700千円減少したことによるものです。

#### (負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、2,800,514千円となり、前事業年度末と比較して183,754千円減少となりました。これは主に買掛金が93,573千円、未払法人税等が64,684千円減少したことによるものです。

#### (純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、7,874,718千円となり、前事業年度末と比較して133,232千円減少となりました。これは主に四半期純利益の272,620千円計上と配当金の支払327,670千円により利益剰余金が55,050千円、自己株式の取得により80,499千円減少したことによるものです。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて24,009千円減少して3,773,207千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、234,658千円の収入（前年同期は546,624千円の支出）で、主な収入要因は税引前四半期純利益413,352千円、棚卸資産の増加額260,772千円であります。一方、主な支出要因は売上債権の増加額103,692千円、法人税等の支払額206,691千円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、153,989千円の収入（前年同期は15,232千円の支出）で、収入の主なものは貸付金の回収による収入153,700千円であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、412,347千円の支出（前年同期は412,842千円の支出）で、支出の主なものは配当金の支払額327,670千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の将来予想につきましては、2020年5月8日に公表いたしました業績予想から変更ございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,797,216	3,773,207
受取手形及び売掛金	3,827,805	3,931,497
商品	2,251,220	1,987,250
その他	182,391	73,371
貸倒引当金	△576	△390
流動資産合計	10,058,057	9,764,936
固定資産		
有形固定資産	658,600	647,857
無形固定資産	48,938	33,912
投資その他の資産		
その他	234,630	236,533
貸倒引当金	△8,006	△8,006
投資その他の資産合計	226,623	228,526
固定資産合計	934,162	910,296
資産合計	10,992,220	10,675,232
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,898,045	1,804,471
未払法人税等	230,259	165,575
賞与引当金	29,580	35,705
その他	462,271	426,008
流動負債合計	2,620,157	2,431,760
固定負債		
退職給付引当金	229,191	238,693
その他	134,920	130,060
固定負債合計	364,111	368,753
負債合計	2,984,268	2,800,514
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,909,825	1,909,825
資本剰余金	686,951	686,951
利益剰余金	5,508,295	5,453,245
自己株式	△100,091	△180,591
株主資本合計	8,004,981	7,869,430
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,970	5,288
評価・換算差額等合計	2,970	5,288
純資産合計	8,007,951	7,874,718
負債純資産合計	10,992,220	10,675,232

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	13,828,821	10,917,989
売上原価	11,584,270	9,079,538
売上総利益	2,244,550	1,838,451
販売費及び一般管理費	1,648,996	1,456,794
営業利益	595,554	381,656
営業外収益		
受取賃貸料	4,488	4,488
雇用調整助成金	—	27,240
その他	2,468	2,074
営業外収益合計	6,956	33,802
営業外費用		
賃貸収入原価	1,500	1,480
その他	628	626
営業外費用合計	2,128	2,106
経常利益	600,381	413,352
税引前四半期純利益	600,381	413,352
法人税等	196,789	140,732
四半期純利益	403,592	272,620

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	600,381	413,352
減価償却費	28,511	25,769
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,166	△186
受取利息及び受取配当金	△708	△1,131
雇用調整助成金	—	△27,240
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,112	6,125
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,924	9,501
売上債権の増減額(△は増加)	192,500	△103,692
たな卸資産の増減額(△は増加)	114,637	260,772
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,282,152	△93,573
その他	△5,901	△76,720
小計	△335,527	412,977
利息及び配当金の受取額	708	1,131
雇用調整助成金の受取額	—	27,240
法人税等の支払額	△211,804	△206,691
営業活動によるキャッシュ・フロー	△546,624	234,658
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,530	—
投資有価証券の取得による支出	△447	△460
貸付けによる支出	△100,000	—
貸付金の回収による収入	86,000	153,700
その他	745	750
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,232	153,989
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△7,518	△4,176
自己株式の取得による支出	△74,868	△80,499
配当金の支払額	△330,455	△327,670
財務活動によるキャッシュ・フロー	△412,842	△412,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	△408	△309
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△975,108	△24,009
現金及び現金同等物の期首残高	4,038,301	3,797,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,063,192	3,773,207

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。